

令和8年度 笠間地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

―総括表―		
◆ 事業計画		
☐ 地域の現状と今後の方向性		
＜ 笠間地区 ＞ 笠間地区は、大船駅に近く利便性の良い地区で戸建てと集合住宅が混在しています。1500世帯を超える大規模マンションを含め集合住宅が多い事が特徴です。古くからある住宅は高齢化が進んでいますが、新しい住宅には子育て世帯を含む様々な世帯の転入があります。 地域サロンや元気づくりステーション、体操教室、地域食堂、移動販売などそれぞれの小地域においても地域活動が非常に活発で、活動を引っ張っていく力のあるリーダーが多いことも特徴のひとつです。 また、地区内では、「旧公務員住宅の跡地活用」や「危険な通学路の問題」、「空き家の問題」など、地域にお住いの皆さまにとって暮らしやすいまちづくり実現のために、積極的に栄区、横浜市に提案されるなど、行動力、実践力のある地域です。 ＜ 長尾台地区 ＞ 長尾台町内会は南北に広がり、大船駅徒歩圏内ながら田畑が残る静かな環境です。古くから住む住民はつながりがあり、様々な活動が活発に行われています。最近では、マンションが新たに建設され更に転入者が増える事が予想されます。高齢化率は20%くらいで、特に若い世代(20～30代)が多い事も特徴のひとつです。赤ちゃんから高齢者までが集う「けやきカフェ」や、ノルディックウォーキング、コグニサイズ等の定期的な活動の他、納涼祭など地域をあげての大イベントなど多様な活動が非常に活発な地域です。 ＜ 田谷地区 ＞ 田谷地区は、担当エリアの中では、一番駅(ケアプラザからも)から離れている地域で、地域の方は、隣区である戸塚区まで買い物に行かれる方もいらっしゃいます。また、田畑など緑が多く残る広いエリアである一方、人口が1300人くらいと比較的少ないため、戸建てが点在している状況です。町内会では、そういった課題に対し独自の見守りシステムを構築しています。「ちょうどよい見守り合い範囲」を設定し、どのような方が近くにお住まいかお互いに知ってもらうために住民に自己PRを記入してもらい共有していますが、町内会未加入者へのアプローチを課題と捉えているようです。 納涼祭や芋煮会などの大イベントの他に、コグニサイズやシニアクラブなどの活動も活発に行われています。 ケアプラザの役割としては、地域の皆さまが「こういう活動をやってみたい」「こんな集まりがあれば」といったお声に対して、具現化する手法、活用する制度など、実現に向けての支援だと考えます。前述のように担当エリアでは、それぞれ素晴らしい活動が活発に行われています。参加者として、担い手として、ケアプラザ職員も地域活動に加わり、各団体の想い、困りごと、そのためにはどのような支援、情報提供が必要かを、日々の関わりから把握できるように努めます。 また、慢性的な担い手不足、後継者不足など地域福祉では、長きにわたる大きな課題ではありますが、ケアプラザが主催する事業やボランティアコーディネート機能で、少しでも地域活動者を増やせるように力をいれています。 更に今年度は、田谷町内会で長年会長を務められてきた方が退任される事もあり、新しい会長を含めた役員さんとの継続的な関係性構築にも努めていきます。		
☐ 今年度の重点的な取組		
新規	継続	―具体的な取組内容―
■	☐	ひきこもり高齢者の実態を把握する(訪問・聞き取り)と共に、孤立リスクの高い世帯リストを整備し、優先訪問対象を明確化する。以前からサロンや体操教室、移動販売など、「集いの場」に出てこれられない方へのアプローチが課題であったが、今年度は、訪問対象の抽出、調査シート作成をし、本人訪問、民生委員、地域住民からの情報収集による実態の把握に取り組んでいく。
■	☐	チームオレンジ事業の一環として、「認知症世界の歩き方」を計画。新たな視点での取り組みを行う事で、今まで参加したことのないような層へのアプローチを行い、広く認知症の啓発を行う。併せて、ひつじカフェ(認知症カフェ)の安定的運営を行い、誰でも気軽に立ち寄れる集いの場を確保する。
■	☐	貸館予約システムへの移行に関して、貸館団体への説明会や、職員自身の操作方法の習得だけでなく、PCやスマホを持っていない方や団体が取り残されないように、フォロー体制を構築していく。
■	☐	これまで、情報発信の手段としてSNSの活用ができていなかったが、今年度は法人管理のインスタや、笠間OP独自のインスタ導入等、SNSを活用して広く情報発信できるように取り組みを行う。その際に、SNS活用のルール作りも併せて行い、安全で正確な情報発信に努める。
☐	☐	
◆ 事業報告・事業実績評価		
☐ 振り返り		
☐ 区からのコメント		

令和8年度笠間地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	「横浜市」と名のつく施設である事を重く受け止め、地域住民、福祉保健団体、介護保険事業所などに対して公正中立な立場で業務にあたります。 特に地域包括支援センターで「事業所の選択」に係る相談を受けた場合は、事業所の一覧を提示するなど、複数の選択肢がある事を相談者に示す取り組みを実践します。	横浜市個人情報の保護に関する条例や、法人の個人情報(プライバシー)保護に対するマニュアル等に従い適切に個人情報を取り扱います。また、職員研修による意識向上に加え、当事業所職員以外の実習生やボランティアの方とも個人情報取り扱いの誓約書を交わし適切な情報管理に努めます。情報漏洩防止策としては、マスキング、ダブルチェック、ネット環境の整備など物理的な対策を講じ予防に努めます。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	介護予防と自立支援の視点を踏まえ、自分らしく自立した生活を続けられるよう、介護保険制度やインフォーマルサービス等を活用し支援します。	地域に住む高齢者が住み慣れた地域で尊厳を持ち自分らしく安心して最後まで生活できるよう介護保険制度やインフォーマルサービスを活用し包括的に支援します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	社会福祉士・主任ケアマネジャー・看護師 〔常勤兼務 各1名〕 予防プランナー〔非常勤専従1名〕	管理者〔常勤兼務1名〕 介護支援専門員〔常勤専従3名〕
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	(ア)ご利用者が自立した日常生活を営めるように支援します。 (イ)ご家族の介護負担の軽減につながるように支援します。		
実施体制	【実施日数】 359日 【提供時間】 10:00～15:00 【定員】 48名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 昼食代:850円	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者 :1名(常勤兼務) 生活相談員 :2名(常勤兼務) 介護職員 :5名(常勤兼務) 介護職員 :16名(非常勤) 機能訓練指導員 :5名(非常勤兼務) 看護師 :5名(非常勤兼務) 介助員 :6名(非常勤)		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和 8 年度「横浜市笠間地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	25,411,682	0	25,411,682	0	25,411,682	横浜市より
内 受領額	25,411,682		25,411,682		25,411,682	
内 戻入額					0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）	167,000		167,000		167,000	自主事業参加費
雑入	35,000	0	35,000	0	35,000	
内 印刷代	0		0		0	
内 自動販売機手数料	30,000		30,000		30,000	
内 その他	5,000		5,000		5,000	ルエ大船通信費
その他	1,776,000		1,776,000		1,776,000	
収入合計	27,389,682	0	27,389,682	0	27,389,682	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,044,157	0	13,044,157	0	13,044,157	法人本部経費は含まず*
内 本俸	8,438,000		8,438,000		8,438,000	
内 社会保険料	1,019,000		1,019,000		1,019,000	
内 手当計	3,342,000		3,342,000		3,342,000	
内 健康診断費	37,000		37,000		37,000	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
内 退職給付引当金繰入額	119,000		119,000		119,000	
内 その他	89,157		89,157		89,157	
事務費	3,473,000	0	3,473,000	0	3,473,000	法人本部経費は含まず*
内 旅費	11,000		11,000		11,000	交通費（スイカチャージ）等
内 消耗品費	381,000		381,000		381,000	コピー用紙、ペーパータオル等
内 会議開い費	20,000		20,000		20,000	運協通信費・飲料等
内 印刷製本費	65,000		65,000		65,000	広報誌、名刺印刷等
内 通信費	482,000		482,000		482,000	電話料金、切手等
内 使用料及び賃借料	42,240	0	42,240	0	42,240	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支	42,240		42,240		42,240	目的外使用料
内 その他	0		0		0	
内 備品購入費	20,000		20,000		20,000	備品購入費
内 図書購入費	0		0		0	
内 施設賠償責任保険	75,000		75,000		75,000	施設賠償責任保険
内 職員等研修費	5,000		5,000		5,000	職員研修
内 振込手数料	6,000		6,000		6,000	振込手数料
内 リース料	128,000		128,000		128,000	AEDリース、コピーリース等
内 手数料	0		0		0	
内 地域協力費	86,000		86,000		86,000	地域協力費
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税	0		0		0	
内 消費税	0		0		0	
内 印紙税	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
内 その他	2,151,760		2,151,760		2,151,760	新聞購読料、ルエ大船駐車場・駐輪場他
事業費	578,000	0	578,000	0	578,000	法人本部経費は含まず*
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）	578,000		578,000		578,000	予算：指定額
内 その他	0		0		0	
管理費	9,618,525	0	9,618,525	0	9,618,525	法人本部経費は含まず*
内 光熱水費	4,700,000		4,700,000		4,700,000	
内 清掃費	426,000		426,000		426,000	
内 機械整備費	222,000		222,000		222,000	
内 設備保全費	815,000	0	815,000	0	815,000	
内 空調衛生設備保守	255,000		255,000		255,000	
内 消防設備保守	117,000		117,000		117,000	
内 電気設備保守	35,000		35,000		35,000	
内 害虫駆除清掃保守	54,000		54,000		54,000	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他保全費	354,000		354,000		354,000	
内 共益費		0	0		0	
内 その他	3,455,525		3,455,525		3,455,525	ルエ大船修繕積立金・管理組合費等
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
太陽光パネル保守点検	0		0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0	0	0	0	0	
内 内訳			0		0	
支出合計	27,187,682	0	27,187,682	0	27,187,682	
差引	202,000	0	202,000	0	202,000	

自主企画事業費 収入	167,000	0	167,000	0	167,000
自主企画事業費 支出	578,000	0	578,000	0	578,000
自主企画事業 収支	△ 411,000	0	△ 411,000	0	△ 411,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	30,000	0	30,000	0	30,000	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	42,240	0	42,240	0	42,240	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 12,240	0	△ 12,240	0	△ 12,240	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和 8 年度「横浜市笠間地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,269,595	0	29,269,595	0	29,269,595	横浜市より
内 受領額	29,269,595		29,269,595		29,269,595	
戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	200,000		200,000		200,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,383,804	0	6,383,804	0	6,383,804	横浜市より
内 受領額	6,383,804		6,383,804		6,383,804	
戻入額					0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【包括】	0		0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【介護予防】	0		0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【生活支援】	0		0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【チームオレンジ】	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代	0		0		0	
内 自動販売機手数料	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
その他	1,013,825		1,013,825		1,013,825	
収入合計	37,021,224	0	37,021,224	0	37,021,224	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,536,224	0	30,536,224	0	30,536,224	法人本部経費は含まず*
内 本俸	17,190,000		17,190,000		17,190,000	
内 社会保険料	3,439,000		3,439,000		3,439,000	
内 手当計	8,312,000		8,312,000		8,312,000	
内 健康診断費	65,000		65,000		65,000	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
内 退職給付引当金繰入額	299,000		299,000		299,000	
内 その他	1,241,224		1,241,224		1,241,224	
事務費	2,329,000	0	2,329,000	0	2,329,000	法人本部経費は含まず*
内 旅費	10,000		10,000		10,000	交通費(スイカチャージ)等
内 消耗品費	212,000		212,000		212,000	コピー用紙、ペーパータオル等
内 会議随時費	0		0		0	
内 印刷製本費	17,000		17,000		17,000	広報誌、名刺印刷等
内 通信費	267,000		267,000		267,000	電話料金、切手等
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
内 備品購入費	20,000		20,000		20,000	備品購入費
内 図書購入費	0		0		0	
内 施設賠償責任保険	74,000		74,000		74,000	施設賠償責任保険
内 職員等研修費	15,000		15,000		15,000	職員研修
内 振込手数料	9,000		9,000		9,000	振込手数料
内 リース料	929,000		929,000		929,000	車両リース、コピーリース等
内 手数料	0		0		0	
内 地域協力費	41,000		41,000		41,000	地域協力費
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税	0		0		0	
内 消費税	0		0		0	
内 印紙税	0		0		0	
内 その他	0		0		0	
内 その他	735,000		735,000		735,000	ルエ大船駐車場・駐輪場他
事業費	1,684,000	0	1,684,000	0	1,684,000	法人本部経費は含まず*
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【包括】	200,000		200,000		200,000	予算：指定額
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	予算：指定額
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【生活支援】	500,000		500,000		500,000	予算：指定額
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【チームオレンジ】	200,000		200,000		200,000	予算：指定額
内 その他	0		0		0	
管理費	2,346,000	0	2,346,000	0	2,346,000	法人本部経費は含まず*
内 光熱水費	1,922,000		1,922,000		1,922,000	
内 清掃費	113,000		113,000		113,000	
内 機械警備費	59,000		59,000		59,000	
内 設備保全費	216,000	0	216,000	0	216,000	
内 空調衛生設備保守	68,000		68,000		68,000	
内 消防設備保守	31,000		31,000		31,000	
内 電気設備保守	9,000		9,000		9,000	
内 害虫駆除清掃保守	14,000		14,000		14,000	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他保全費	94,000		94,000		94,000	
内 共益費	0		0		0	
内 その他	36,000		36,000		36,000	ルエ大船修繕積立金・管理組合費等
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
その他	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まず*
内 予算：指定額	0		0		0	予算：指定額
支出合計	37,021,224	0	37,021,224	0	37,021,224	
差引	0	0	0	0	0	

自主企画事業費 収入	0	0	0	0	0
自主企画事業費 支出	1,054,000	0	1,054,000	0	1,054,000
自主企画事業 収支	△ 1,054,000	0	△ 1,054,000	0	△ 1,054,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和 8 年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：横浜市笠間地域ケアプラザ

2026年4月1日～2027年3月31日

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,603		5,603	7,373		7,373	29,718		29,718	129,838		129,838
	その他	0	0	0	0	0	0	7,481	0	7,481	2,374	0	2,374
	介護認定調査委託事業収入			0			0	385		385	0		0
	委託事業収入			0			0	867		867	0		0
	補助金事業収入			0			0	0			0		0
	受取利息配当金収入			0			0	0			1		1
	受入研修費収入			0			0	0			0		0
	雑収入			0			0	0		0	42		42
	サービス区分間繰入金収入			0			0	6,229		6,229	2,331		2,331
	その他			0			0	0		0	0		0
				0			0			0	0		0
	収入合計(A)	5,603	0	5,603	7,373	0	7,373	37,199	0	37,199	132,212	0	132,212
支出	人件費			0			0	28,237		28,237	94,346		94,346
	事務費			0			0	698		698	5,142		5,142
	事業費			0			0	0		0	17,693		17,693
	管理費			0			0	204		204	7,936		7,936
	その他	3,114	0	3,114	3,633	0	3,633	4,202	0	4,202	6,116	0	6,116
	利用者負担軽減額			0			0	0		0	0	0	0
	消費税			0			0	0		0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	3,114		3,114	3,633		3,633	0		0	0	0	0
	ファイナンス債務の返済支出			0			0	977		977	244		244
	サービス区分間繰入金支出			0			0	3,225		3,225	0		0
	拠点区分間繰入金支出			0			0	0		0	1,000		1,000
	長期運営資金借入金元金償還支出			0			0	0		0	4,872		4,872
	その他			0			0			0	0		0
	支出合計(B)	3,114	0	3,114	3,633	0	3,633	33,341	0	33,341	131,233	0	131,233
収支 (A)－(B)		2,489	0	2,489	3,740	0	3,740	3,858	0	3,858	979	0	979

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。
※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和8年度 自主企画事業(指定管理事業)計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児	
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者	
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）			7：その他			

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	保健活動推進員勉強会と地域向け共催事業	H21年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	①保健活動推進員の介護予防への知識と自身が取り組むべき課題を明確にする。 ②保健活動推進員が地域に出向き、介護予防の普及啓発を行う。	1:高齢者		計測、はまちゃん体操、レクリエーション、栄養、転倒予防、口腔ケア等 5・7・9・10・11・12・1月 計測会・イベント等 4・6・3月 保活勉強会等	0	0	0	0
2	介護予防普及啓発・フレイル予防講座	R5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	フレイルについて理解し、フレイル予防に取り組む機会を作る	1:高齢者		フレイルのチェック、計測、予防知識の提供(運動、栄養、口腔ケア、社会参加、認知症予防、こころの健康づくり等) 6～12月	0	0	0	0
3	健康教育出前講座	H24年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	移動販売やサロン等に出向き、ミニ講座、計測会等を通して、フレイル予防に取り組むきっかけづくりをする。あわせて、保健事業と介護予防の一体的事業におけるフレイルチェックも行っていく。	1:高齢者		運動実技、認知症予防、計測 4～R8.3月	0	0	0	0
4	認知症サポーター養成講座	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症の人と家族が安心して暮らせるまちづくり	5:地域		地域のキャラバンメイトと共に認知症の講座を実施。受講者には認知症の人と家族を温かく見守るサポーターの証である「認知症サポーターカード」を配布。ケアプラザが企画する他、地域の団体や機関の依頼に応じて実施する。 最低年2回	0	0	0	0
5	介護者のつどい	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者支援。介護の難しさや悩みを抱えている介護者に対して、介護に役立つ勉強会や情報提供を行いながら、介護者同士のお互いの悩みを話し合ったり情報交換を行う。	5:地域		介護者同士の懇談、専門家からの情報提供 5月、10月、2月(年3回)	0	0	0	0
6	権利擁護相談会	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	身近なケアプラザで専門家に成年後見・遺言・相続などの相談が出来る場を作ることにより、成年後見制度の利用促進、または自分らしい「老い支度」を支援する。	1:高齢者		司法書士・行政書士による個別相談会 後期 区内地域ケアプラザで1回ずつ、計7回開催	0	0	0	0
7	終活講座	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が人生の最期まで自分らしく生きることができるよう、自らの意思で自身の生き方を選択できるよう支援する。米区版エンディングノート「SAKAEシニアライフノート」の普及啓発。	1:高齢者		専門家による講義 「生前整理」「成年後見」 年2回	0	0	0	0
8	高齢者虐待出前講座	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者虐待の予防・早期発見	6:事業者		介護保険事業所等に出向き高齢者虐待についての出前講座を行う。 依頼に応じて年数回 居宅支援事業所向けに2回集合研修	0	0	0	0

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4：子ども・青少年	5：地域	4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）			7：その他		7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライン 参加人数
9	地域ケア会議	H24年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	個別ケース課題の解決に向けた会議と、その分析による地域に共通した課題を明確にして、地域課題の解決に必要な地域づくりや事業の計画などにつなげることを目的とする。	1:高齢者	5, 6	実際に支援や見守りを行う実践者が集まり、個人の心配事、困りごとの話し合い、個人を支える地域でのネットワークづくりを行う。「個別レベル地域ケア会議」を積み重ねることにより、地域内の共通課題を探り「包括レベル地域ケア会議」の開催に繋げる。年3回程度	0	0	0	0
10	民生委員との懇談会	H24年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	民生委員・主任児童委員の改選もあって、新たに委員皆さんとケアマネジャーとの顔の見える関係作り、相互の業務の理解と協力そして連携して支援をしていく仕組みについて、意見交換を行う。	5:地域	1, 6	日頃の業務で支援しているケースで、共有すべき問題等の情報を交換して業務に活かしていく。 開催:年2回程度予定	0	0	0	0
11	在宅医療相談室との共催事業	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	在宅医療相談室との医療面での勉強会および情報提供を支援事業者や地域住民に向けて開催して知識と理解を深めて、支援のスキルアップと在宅生活と医療との連携を図ることを目的とする。	6:事業者	5	・事例検討会 他勉強会 開催:年数回予定	0	0	0	0
12	医療との連携推進「薬局薬剤師との懇談会」	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	医療と介護の連携を目的に、ご利用者(地域住民)と事業者にも最も身近な医療職であって、医療と介護の両面に関わる「薬」について、その専門家である薬局薬剤師と関係を作り連携をしていくことを目的とする。	6:事業者		事例検討や勉強会、ケアマネをはじめサービス支援者との懇談 開催:年2回程度	0	0	0	0
13	施設協力医との懇談会	R3年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	施設協力医とケースについての相談や一般医療についての質疑応答など、直接医師と懇談をとおして、問題解決に向けて考え、また知識を増やし業務に活かすことと、医師との顔の見える関係を作る場としている。	6:事業者		・テーマを設けた情報交換 ・事例の検討 ・医療相談 等 開催日時:毎月1回	0	0	0	0
14	新任及び就労前ケアマネジャー研修	H28年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	マネジメント業務に必要な内容の講座を開催して、主に新任ケアマネジャーを中心に支援を行う事を目的とする。	6:事業者		例:ケアマネジメント技術、対人援助技術、制度やサービスについて、医療と介護の連携について 等 開催:年1～2回程度	0	0	0	0
15	びびびランチ	H23年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子育て支援。乳幼児とその保護者の仲間作り、ストレス軽減、ちょっとした相談場所を提供する。	3:養育者及び乳幼児		区役所事業(地域育児教室、子育て支援)の後時間をフリースペースとし、昼食が摂れる場とする。主任児童委員、民生委員の見守りで、母親同士が買い物やトイレにゆっくり行けたり、ちょっとした相談ができる。	0	0	0	0
16	出張！駅ひろば	H23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援。広い場所でのびのび遊ぶことを目的とする。	3:養育者及び乳幼児		「親子の駅ひろば」より職員が出張し、乳幼児親子を対象としたイベントを行う。 6月、10月、2月(年3回)	0	0	0	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：障害児・者	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うち オンライン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライン 参加人数
17	ゆうわ館で水遊びしよう！	H24年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	①夏季の遊び場提供 ②養育者のストレス軽減 ③地域活動者と住民の関係づくりの場 ④中学生の地域活動の場の提供	3:養育者及び乳幼児		ゆうわ館の駐車スペースにビニールプールを用意し、プール遊びを実施。室内遊びも出来るよう館内にはおもちゃを用意。水の入れ替え時間をおやつタイムとし、更生保護女性会のPRを行う。地域の中学生がボランティアとしてお手伝い。	0	0	0	0
18	親子de遊ぼう！わくわくタイム	H14年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①近い年齢の子ども、養育者への遊びの機会提供 ②公立保育園との距離が遠い地域の為、公立保育園とのつながりを作る。	3:養育者及び乳幼児		公立保育園2園の協力で開催。集団遊び、親子遊びを提供。 年2回計画予定	0	0	0	0
19	にこりんく共催事業	H25年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	にこりんくのアウトリーチ事業。 にこりんくとケアプラザの機能周知の場。	3:養育者及び乳幼児		地域の養育者の興味関心のあることを題材にイベントを開催 9月（年1回）	0	0	0	0
20	さかえおもちゃ病院	H17年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	大切なおもちゃを直すことなどを通じて、子どもの健全育成の助けをする。	4:子ども・青少年		ボランティアによるおもちゃの修理。壊れたおもちゃを持参いただき、直してもらい、長持ちするよう使い方などをあらためて教えてもらう。 毎月第2日曜日（年12回）	0	0	0	0
21	障がい児余暇支援	H25年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①特別支援学校、個別支援級に通う小中学生の余暇の場の提供 ②保護者や関係機関、地域に対して、相談機能を有するケアプラザを周知する ③中学卒業後の障がい児の地域とのつながりの場の提供	2:障害児・者		基幹相談支援センターの協力を得て、地域で暮らす障害児が楽しめる、春夏秋冬の季節に合わせたイベントを開催する。 8月、10月、12月、3月（年4回）	0	0	0	0
22	小さなアーティスト展	R3年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①特別支援学校、個別支援級に通う小中学生の表現できる場づくり ②地域周知	2:障害児・者		区社協、区役所の協力を得て、地域で暮らす個別級、特別支援学校に通う子どもたちの作品を表現できる場を作り、地域の方知ってもらうため栄区民文化センターリリスで展示会の開催	0	0	0	0
23	ポッチャ交流イベント	R2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいを持つ方から高齢者まで一緒に楽しめるイベントを行い、ふれあえるきっかけ作りをする。	2:障害児・者	5	障がいのある方と地域の方との交流として、ポッチャと一緒にこごう	0	0	0	0
24	貸館団体連絡会	H30年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	施設利用ルールの説明を行い、福祉保健活動を積極的に進めていくための情報提供を行う	5:地域		・施設利用ルール説明 ・福祉保健活動記録の提出について ・災害時の対応について（避難経路の確認） ・団体からの要望聴取、意見交換等 1～2月（年1回）	0	0	0	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児	
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者	
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）			7：その他			

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
25	栄区地域ケアプラザ7館合同自主企画よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	H24年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①身近な会場で研修会を受けていただく機会の提供 ②ボランティア拡充	1:高齢者		よこはまシニアボランティアポイントの概要やボランティアについての講習。受講者にはボランティアポイントカードが発行される。 11月(年1回)	0	0	0	0
26	ひつじカフェ	R6年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	主に認知症の方の活動の場、居場所としてカフェを運営。認知症の方だけではなく子どもから高齢者まで交流しやすい場を設ける。	5:地域		キャラバンメイトと協働。 毎月第2土曜日(年10回)※8、12月除く	0	0	0	0
27	笠間ハーモニー	R5年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	楽しく歌って、心身共に健康になって住み慣れた地域で、交流の輪を作る。	1:高齢者		毎月第1水曜日 ピアノの伴奏に合わせて皆で歌う	0	0	0	0
28	いっしょに食べるともっとおいしい	R8年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	主に独居高齢者を対象とした、気軽なお弁当ランチの場の提供	1:高齢者	5	6月より第3火曜日のランチタイムを開催 都度、生活に役立つ情報提供を行う	0	0	0	0
29	大画面でeスポーツイベント	R7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	子どもから大人まで誰でも楽しめるeスポーツを体験し、交流の場を提供する。	5:地域		隔月もしくは四半期に一度を目標に、ケアプラザ内だけではなく、出張イベントを開催する。 年数回予定	0	0	0	0